

令和2年度後期海外登山奨励金交付登山隊選考結果

日本山岳・スポーツクライミング協会では、海外登山の振興と技術の普及、向上を目的として、海外登山奨励金制度を制定し、斬新、独創的で、多大な成果の期待できる登山計画に対し、奨励金を交付しています。

今期（令和3年3月～令和3年8月出発予定の隊）は、2隊の応募がありました。厳正な審査の結果、下記の通り奨励金を交付することを決定いたしました。

記

■ 2021 Gasherbrum VI 遠征隊

期 間：2021年6月15日～7月31日

隊 員：高柳 傑(32)、鈴木雄大(26)、石川貴大(31)

山 域：パキスタン・カラコラム ガッシャーブルムVI峰（7,004m）

内 容：未踏の7,000m峰を南東壁からアルパインスタイルで初登攀を狙う。

評 価：同じ面からもトライされているが、未踏のVI峰に目を付けたのは悪くない。唯、南東面と言う事で、雪の状態によっては苦勞することが想像される。メンバーの高所経験は豊富とは言えないが、コロナ禍の中でも意欲を持ち続け、計画を出して来る情熱は評価できる。

日程が少しタイトなのが気になる。時期的にコロナが終息しているとも思えず、都市部に長居したくない気持ちはわかるが、3日でイスラマバードの登山準備は終わるのだろうか。フライトキャンセルになった場合、陸路で行くことになる。1週間でBCに入るのは厳しい。年齢的に若いからベース入りは大丈夫かもしれないが、其処から上のタクティクスに影響が出る可能性もある。

BC(5,150m)からいきなり取り付きで、1,850mのアップ。高度順化にはもう少し慎重になるべきではと思う。順応期間を取っているが、何処で順化活動をするかは示されていない。ゴンドゴロ峠も時期的に早いかも知れない。過去のカラコラム方面の登山隊から学ぶべきことは多いので、記録を調べ、参考にすべきではないかと思う。

交付額：30万円

■ Giri Giri Boys K7 Expedition 2021

期 間：2021年7月15日～8月23日

隊 員：横山勝丘(42)、鳴海玄希(38)

山 域：パキスタン・カラコラム K7中央峰（6,858m）

内 容：K7中央峰は、K7山群の中央に位置し、どの面からもアクセスは容易ではない。長いアプローチに加え、標高6,500m地点からは、垂直に近いヘッドウォールが控え、登頂を困難なものにしている。これまでに培った高所登山とアルパインロッククライミングの

能力を集中し、アルパインスタイルでの初登頂を目指す。

評 価：横山隊長のK7は、2014年、2017年に次いで3度目。だからこそ出てくる計画であらう。前回のクライミングも素晴らしいものだったと思う。地道にクライミングを追求する彼らを応援したい。彼らのクライミング・スタイルは困難だが危険は最小限にとどめていると思う。2017年のK7西峰南西稜初縦走のクライミングは困難で地味だったが・・・このようなクライミングを評価し続けたい。

唯一不安材料は、推測だが北面のプラトー側からヘッドウォールのルートが確定されていないのではないかと推察する。

交付額：40万円

